

## 第六十六回 日本学生・生徒・児童 書道展覧会（日本学書展） 出品要項

この展覧会は、全国の学生・生徒・児童の書写・書道技術の向上を図り、創造力を養い、もって豊かな人間形成に役立てることを目的として、公共団体が主催する全国唯一のものであります。昭和二十九年以来長年にわたり、学校における書写・書道教育の振興に大きな役割を果たしてまいりました。本年も、全国各地から多数の応募をお待ちしています。

- 一 主催 奈良県、奈良市、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会
- 二 後援 文部科学省、全国都道府県教育委員会連合会、全国高等学校校長協会、全日本中学校長会、全国連合小学校長会、日本書芸院（申請中）奈良県書道教育研究会、奈良商工会議所、読売新聞社、読売テレビ放送、奈良製墨組合、奈良毛筆協同組合
- 三 展覧会 令和元年十一月二十一日（木）～二十四日（日）  
午前十時～午後五時まで（最終日二十四日は午後四時まで）※入館は閉館時間の三十分前まで  
奈良市美術館（ミ・ナアラ五階） 奈良市二条大路南一丁目3番1号（近鉄新大宮駅西へ徒歩約十二分）
- 表彰式 令和元年十一月二十四日（日）はぐくみセンター（奈良市保健所・教育総合センター）奈良市二条本町13-1（JR奈良駅西口南へ200m）
- 四 部門及び出品規定（題材は自由とし、作品はすべて毛筆によること。）

部門	用紙	注 意
第一部 小学校児童	1 半紙 （三五×二五cm程度） 2 小画仙八分の一 （六八×十八cm程度）	・漢字については、小学校6年間で学習する漢字（二〇〇六字）がのぞましい。 ・書体は、楷書とする。 ・用紙は、タテ方向に使用すること。
第二部 中学校生徒	1 半紙 （三五×二五cm程度） 2 小画仙八分の一 （六八×十八cm程度） 3 小画仙半切 （二三六×三五cm程度） 4 小画仙二分の一 （七〇×七〇cm程度）	・漢字は、常用漢字がのぞましい。 ・書体は、楷書又は行書とする。 ・臨書作品には、原本名を書いたタテ15cm×ヨコ3.5cmの用紙を作品に向かって左下にのりづけすること。 ・用紙1～3は、タテ方向に使用すること。
第三部 高等学校生徒 大学学生 （漢字・篆刻）	1 半紙 （三五×二五cm程度） 2 小画仙半切 （二三六×三五cm程度） 3 連落 （二三六×五三cm程度） 4 小画仙二分の一 （七〇×七〇cm程度）	・1～3は、タテ方向に使用すること。 ・篆刻作品可（半紙大の用紙に押印又は貼付けること） ・タテ15cm×ヨコ7cmの用紙に釈文を書いて作品に向かって左下にのりづけすること。 ただし、臨書作品については、原本名のみの記載でもかまわない。
第四部 高等学校生徒 大学学生 （仮名・漢字仮名交じり）	1～4 第三部と同様 5 懐紙、半懐紙	・用紙はタテヨコ自由とする。

五 出品上の注意 1 出品作品には、姓名を書くこと。（ただし、姓または名だけでもよい。第三・四部は雅印だけでもよい。学校名・学年の記入は自由）

2 出品作品は、一人につき二点以内とする。ただし、題材を変えること。

3 出品作品は、表装せず書き下ろしそのままとすること。

4 出品作品には、必ず「出品票」（別紙）を一点ごとに作品に向かって右下にのりづけすること。

5 出品作品は、原則として学校（又は代表者）でまとめ、「出品目録」（別紙）を同封し、一包みとして送ること。

6 出品作品は、原則として返却しません。ただし、特賞六十三点については、希望者のみ一部金額負担にてご本人へ返却します。

六 作品処理費 作品処理費として一点ごとに、第一・二部は「五百円」、第三・四部は「七百元」とします。

作品処理費・入賞目録代金は、学校（又は代表者）でまとめて送金してください。学校教育課への持ち込みの場合、現金受付可。

郵便振替（00980・7・17091番、奈良市教育委員会内「日本学書展」宛）

七 作品の送り先 〒630・8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

奈良市教育委員会 学校教育課内「日本学書展」宛 電話0742・34・5318

八 作品の締切日 令和元年十月四日（金）必着 ※奈良市役所（北棟3階学校教育課にて随時受付します。）

九 褒 賞 特 賞 賞状 記念品（記念文鎮） 六十三名

- ・文部科学大臣賞 (四名) ・奈良県知事賞 (五名) ・奈良市長賞 (五名)
- ・奈良県教育委員会賞 (五名) ・奈良市教育委員会賞 (五名) ・奈良県議会議長賞 (五名)
- ・奈良市議会議長賞 (五名) ・全国高等学校校長協会会長賞 (一名) ・全日本中学校長会長賞 (一名)
- ・全国連合小学校長会長賞 (二名) ・日本書芸院賞 (五名) ・奈良県書道教育研究会賞 (五名)
- ・奈良商工会議所会頭賞 (五名) ・読売新聞社賞 (五名) ・読売テレビ賞 (五名)
- 特 選 賞状 副賞（書道用具） 約八百名
- 準特選 賞状 約四千名

今年度より入賞は準特選までとし、賞状を授与します。また、文部科学大臣賞には有名パークチケットの贈呈があります。入賞者以外にも参加賞としてクリアファイルを贈呈。

十 成績発表 十一月月上旬に学校（又は代表者）あてに審査結果を通知します。

十一 入賞目録 特賞作品並びに特選、準特選の入賞者名等を記載した「入賞目録」（冊子）を作成し、展覧会場等において六百円で頒布します。また、郵便振替・電話等の申し込みにより郵送します。なお、五十点以上を出品した学校（又は代表者）には一部を贈呈します。

※優秀作品は、日本学書展ホームページでも紹介します。出品者は、個人情報掲載されることになりました。

